

1 子どもから高齢者、障害のある人も、みんなが住みよいまちにしよう

●地域の宝（子ども）を地域みんなで育て、子ども達がずっと住み続けたいまちにしよう！

具体的な 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後や、長期休暇等の子ども（待機児童・小学生・障害児等）の居場所がなく、困っている人のために預かり場を作り、地域の方や専門性を有する方の力を借りて、子育て中の親が安心して働ける環境を整えます ・人材の確保＝地域内から、お手伝いいただける方、元気な高齢者、専門性を有する方を募ります ・場所の確保＝子どもたちの預かり場を探します（既存の施設、自治会館、空き家、農地等の活用） ・利用者の募集＝支援を必要とする方を募ります 				
	H28	H29	H30	H31	H32～
プロジェクト推進体制の設置（H28.4～）					
▶人材の確保(H28.5～) → ~以降継続					
▶場所の確保(H28.5～) → ~以降継続					
▶利用者募集開始 → ▶利用開始～(人材・場所が確保できたら)					

※3年以内の導入を目指します！

●須々万の文化、歴史、自然を後世に伝え守り続けるための「すすまの“宝”、保護マップ」をつくろう！

具体的な 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達が住むまちの良さを知り、地域の内外の人たちに発信します ・須々万調査隊を結成し、後世に伝えたい須々万の歴史・文化・自然を調査します ・須々万の歴史を知る高齢者が健在なうちに、聞き取りを行い記録に残します ・須々万の地名のナゾや過去の災害等を調査して、記録に残します ・調査結果をもとに須々万の史跡マップ及び冊子を作成します 				
	H28	H29	H30	H31	H32～
須々万調査隊の結成（H28.4～）					
▶人材の確保(H28.5～) → ~以降継続					
▶調査開始(人材の確保が出来次第) → ~以降継続					
▶史跡マップ作成、須々万の歴史お話会の開催(調査と並行して) → ~以降継続					

※2年以内に史跡マップ作成を目指します！

●交通弱者の交通手段を確保。誰でも気軽に利用できる「すすま町中巡回便」を導入しよう！

具体的な 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・交通弱者（子ども、運転免許のない人、高齢者など）の交通手段を確保します ・実態調査＝地域のニーズを探ります ・車の確保、運転手の確保を行います ・巡回便の巡回コース、時刻表を作成し、駐車場の安全確保を行います 				
	H28	H29	H30	H31	H32～
プロジェクト推進体制の設置					
▶実態調査（各自治会・部団単位で行います） → ~以降継続					
▶車・運転手の確保 →					
▶巡回コース・時刻表・停車場等の選考 → ▶巡回便運航開始					

※5年以内の導入を目指します！

2 農地と空き家を活用して地域のにぎわいを創出しよう

●農地を有効利用しよう！

具体的な 取組み	<ul style="list-style-type: none"> 農地の調査（耕作放棄地の利用価値を評価）します 農地の担い手グループを立ち上げます 利用可能な農地は担い手グループで営農します 空いた農地は家庭菜園や果樹栽培、農業公園及び市民農園等に転用します 利用が難しい農地は景観保全に努めます 上記の取り組みで、地域の特産品を生みだし、地域所得を高めます 				
	H28	H29	H30	H31	H32～
プロジェクト推進体制の設置（H28.4～）					
▶農地の調査（農業委員ほか） → ～以降継続 ▶担い手グループの創設（担い手を募ります） → ～以降継続 ▶アンケート作成 → ▶アンケート実施・集計 → ▶農地活用計画・地区割り策定 → ▶プラン開始					

※5年後をめどに活動を開始します！

●「空き家プロジェクト」～使える空き家は活用(カフェ5軒計画)し、危険な空き家は解体(景観の保全)して、交流人口を増やそう！

具体的な 取組み	<ul style="list-style-type: none"> 空き家調査隊を結成し、地域内の空き家の点検をします 調査した空き家の利用価値を判断（管理状態が良い、管理状態が悪い、倒壊の危険あり） 地域の空き家マップを作成し、以後継続的に調査をします 使える空き家（家主）と使いたい人（カフェのオーナーなど）とをマッチングして、地域に特色のあるカフェをつくり、地区内外の人に憩いの場、ふれあいの場を提供します 				
	H28	H29	H30	H31	H32～
プロジェクト推進体制の設置					
▶空き家調査（調査員を募ります） → ～以降継続 ▶オーナー募集（カフェオーナーを募り、オーナーとカフェの具体的な計画を練ります） ▶カフェ1号店オープン ▶空き家マップ作成 → ～以降継続 ▶カフェ5軒計画、景観保全活動始動 →					

※5年以内に空き家マップを作成し、カフェ1号店のオープンを目指します！

●雑木林、竹林を整備し、里山を再生しよう！

具体的な 取組み	<ul style="list-style-type: none"> 住居地にまで侵入してきている竹林・雑木林を整備して里山を再生します 里山を整備して、景観の保全と有害鳥獣被害を防ぎます 伐採した竹や雑木を薪やペレット、炭、シイタケの原木などに加工して販売します 森林組合と地域住民との共働で取り組みます ふれあいの森を活用して、森林環境教育に取り組みます 				
	H28	H29	H30	H31	H32～
プロジェクト推進体制の設置					
▶現地調査（各自治会・部団単位で調査を行います） → ▶森林組合との協議 → ▶住民アンケート実施 ▶里山整備・活用計画策定 → ▶活動開始～ ▶森林環境教育（ふれあいの森を活用）開始 →					

※5年以内を目標に活動を開始し、10年後には産業として成り立つようにします！

3 須々万地区を周南市北部地区の拠点にしよう

●北部地域の人たちが集う交流施設であり、総合支所機能を備えた複合型施設の設置を目指そう！

具体的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化する支所公民館の建て替え時期に合わせて、地域住民や買物・通院などで須々万に来た周辺地域の人たちが集い、多世代が交流する空間と、より充実した行政サービスを提供するための総合支所機能を備えた複合型施設の設置を目指します ・周辺地域と連携して関係機関に要望をあげます 				
	H28	H29	H30	H31	H32～
プロジェクト推進体制の設置	<ul style="list-style-type: none"> ▶地域の意識調査（アンケート等により）を行う → ▶北部周辺地域の意識調査を行う → ▶関係機関への要望 → 				

※3年以内に北部地区と連携して関係機関に要望をあげて、10年以内の設置を目指します！

●地域、子育て世代のニーズに応じた教育環境を整え「県内一の子育てしやすいまち」をつくろう！

具体的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある取り組みで、子育て世代を呼び込み、少子化・人口減少対策に取り組みます ・幼稚園と保育園を統合して市内初の公立認定こども園の設置を目指します ・特色ある教育（小中連携一貫教育、小中一貫教育校の設置など）を推進します ・徳山高校徳山北分校に専門学科（農業科、福祉科、看護科等）の設置を目指します ・幼保小中PTA及び周辺地域と連携して関係機関に要望をあげます 				
	H28	H29	H30	H31	H32～
プロジェクト推進体制の設置	<ul style="list-style-type: none"> ▶実態調査（子育て世代の現状把握）→ ▶北部周辺地域の意識調査を行う → ▶関係機関への要望 → 				

※3年以内に北部地区と連携して関係機関に要望をあげて、10年以内の導入を目指します！

※認定こども園＝幼稚園と保育所の両方の良さをあわせ持つ施設。保護者が働きやすい環境が整います

※小中連携一貫教育＝地域の実情に合わせた特色ある教育が可能となる（中一ギャップの解消・学力向上）

●須々万を中心とした公共交通機関の利便性を高めよう！

具体的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・周南市の中央に位置する立地を生かして、バス路線のハブ化を目指します ・北部周辺地域と須々万間は、もやい便（※地域が運営する生活交通便）などで結びます ・バス路線のターミナルを須々万に置き、新規路線（新南陽、下松方面）の開拓をします ・周辺地域と地域内交通、公共交通の在り方について検討を行い、関係機関に要望をあげます 				
	H28	H29	H30	H31	H32～
プロジェクト推進体制の設置	<ul style="list-style-type: none"> ▶北部周辺地域との連携 → ▶関係機関への要望 → 				

※3年以内に北部地区と連携して関係機関に要望をあげて、5年以内の導入を目指します！

4 地域の人、地域外の人を楽しめるイベントを開催しよう

● イベント開催をお手伝いする「須々万応援隊」を結成しよう！

具体的な 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 須々万を元気にする様々なイベントの企画立案、開催を応援するグループを立ち上げます ・ 地域の人が世代を超えて「ふれあう、楽しむ、つながる」新規イベントを開催します 「鍋 S-1GP」「三十路の集い（30歳式）」「スポーツイベント」など ・ 若者世代が活躍する場を広げ、次代を担う人材育成に取り組みます ・ 既存の祭り（夏祭り、八朔祭など）を盛り上げていきます ・ 過去にあったイベント「運動会」「産業文化祭」「沼城合戦」などについて再考します 				
	H28	H29	H30	H31	H32～
	須々万応援隊の結成（H28.4～）				
	▶ 「須々万応援隊（すすま大好き！人）」を募ります →			～以降継続	
	▶ 活動開始 →				
	▶ 鍋S-1GP →		～以降継続		

※新規イベント第1弾として「鍋S-1GP」を平成28年度～開催します！



【すすま夢プラン推進委員会】の設置

● すすま夢プラン 夢を叶えるための推進組織を立ち上げます。

具体的な 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 須々万地区まちづくり推進協議会に夢プラン推進組織を組み込みます ・ 委員は夢プラン策定委員を含めた新たなメンバーで組織します ・ 委員長を中心に、夢プラン4つの柱にそれぞれ核となるリーダーを据えます 				
	H28	H29	H30	H31	H32～
	すすま夢プラン推進委員会の設置（H28.4～）				
	▶ 各プランの委員を募ります →		～以降継続		
	▶ 活動開始（各プランを推進） →				

※すすまの夢を叶えるのは、須々万に住む住民の皆さんです！すべての住民が、夢プランを推進する委員のひとりとして、それぞれが出来る時に、出来る範囲で、無理のない活動にご協力をお願いします！



【須々万ふるさと寄付金制度】の導入

● すすま夢プラン 夢を叶えるための、活動資金を募ります。

具体的な 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 須々万出身者、須々万に関心のある方に向けて、ふるさと応援寄付金を募ります ・ 地域外の方、須々万出身で現在他市町や県外に在住の方に向け、須々万の魅力を発信していきます ・ 寄付者にはお礼として須々万で採れた特産品（農作物など）を進呈します ・ 寄付の一部は特産品提供者への代金とし、残りを夢プラン推進のための運転資金とします ・ 運営は夢プラン推進委員会で行います 				
	H28	H29	H30	H31	H32～
	須々万ふるさと寄付金制度				
	▶ 事務局開設 →				
	▶ 特産品提供者を募ります →			～継続実施	
	▶ 制度の周知 →				
	▶ 活動開始 →				

※1年後の導入を目指します！



ふれあい
たすけあいのまち
須々万